

# 宗教と戦争を考える〈1〉

## 旧約聖書における「聖戦」をめぐって

講師 勝村 弘也 (神戸松蔭女子学院大学名誉教授)

現在、地球上の様々な地域で起こっている戦争行為に対して、宗教の側からは、「われわれは平和を教えているのであって、戦争のような暴力行使とは関係がない」との主張が繰り返しなされてきました。しかし、それは本当でしょうか。近年のアメリカによる「十字軍」発言は、キリスト教が「異教」に対してかつて行なってきた暴力行為をイメージしており、しかもそれが「聖戦」であったことを想起させるものです。この聖戦のルーツを辿ると旧約に行きつくことは言うまでもありません。旧約には「異教」に対する徹底的な暴力を当然のこととして正当化している言説が存在します。特にヨシヤ記、士師記、サムエル記にそのことは集中的に現れます。このことを現代の旧約学者たちがどのように見ているのかを紹介し、聖書を批判的に読むことの意味を考えたいと思います。

日時 2016年10月8日(土) 13:30~17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300円、学生1,000円(コーヒー込み)

\*要申込み\* 10月5日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込み下さい。



勝村 弘也 かつむら ひろや

1946年、兵庫県西宮市に生まれる。神戸松蔭女子学院大学名誉教授。ウィリアムス神学館教授(非常勤)。京都ユダヤ思想学会会長。「憲法九条をノーベル平和賞に推す神戸の会」常任委員。京都大学陸上競技部コーチ(女子)。旧約学者、特に知恵文学を研究。「サムエル記注解」を執筆中の他に、死海文書の「感謝の詩篇(ホダヨト)」などの解説にあたっている。著書に『旧約聖書に学ぶ』(日本基督教団出版局)、『詩篇注解』(日本基督教団出版局)、『箴言カレンダー』(聖公会出版)、『旧約聖書を学ぶ人のために』(共著、世界思想社)など。翻訳にG・フォン・ラート著『イスラエルの知恵』(日本基督教団出版局)、岩波書店からの旧約翻訳シリーズの「箴言」「雅歌」「哀歌」「エステル記」を担当など。

- ◎スケジュール◎ 13:30～15:00 挨拶・講師紹介  
 講演・発題  
 15:00～15:30 コーヒーブレイク  
 15:30～17:20 質疑とはなしあい  
 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



2016年度 修学院フォーラム これからの予定

- 「社会」 第2回 11月12日(土)「宗教と戦争を考える 2」  
 「新約聖書における戦争の問題」  
 講師：浅野 淳博(関西学院大学神学部教授)
- 第3回 12月予定  
 「民意を政治に反映させる新しい試み：SEALDsとは何か」(仮) 講師：交渉中
- 第4回 2017年1月8日(日)～9日(月・祝)〈エネルギーを考える第5回〉  
 「福島原発事故収束の課題は何か」(仮) 講師：交渉中
- 第5回 2017年1月28日(土)「政治と宗教」(仮)  
 講師：佐藤 優(作家・元外務省主任分析官)
- 「いのち」 第3回 2017年3月5日(日)  
 「ピアノと賛美とお話」(仮)  
 演奏とお話：菅野 万利子(ピアニスト)
- 「福祉」 第2回 2017年2月25日(土) 共催：京都YWCA  
 「キリスト教、仏教、神道から「死と葬儀」を考える」  
 講師：宏林 晃信(浄土真宗浄元寺住職)、江田 政亮(貴布禰神社宮司)、  
 福島 旭(日本基督教団牧師・関西学院中学部宗教主事)



【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
 関西セミナーハウス活動センター  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
<http://www.academy-kansai.org>  
 電話 075-711-2117  
 FAX 075-701-5256  
 電子メール office@academy-kansai.org  
 所長 榎本 栄次  
 担当 都木かおり

【会場へのアクセス】



\* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2016年度 修学院フォーラム「社会」第1回 参加申込書

名前 <small>(フリガナ)</small>	所属
住所〒	
電話 ( ) - ( )	FAX ( ) - 携帯 ( )
電子メール:	@
通信欄:	